

長野県伊那市における 秋期のアサギマダラ幼虫採集例

伊藤 寿

長野県においては、アサギマダラ *Parantica sita* の幼虫が秋期に観察された例はないようであるが、筆者は10月に採集しているので報告する。

1 幼虫(若齢), 長野県伊那市手良野口, 1. X. 1980
信州大学農学部演習林内で、カラマツ林の林床に生育するイケマの葉に円形の食痕を発見し、葉を裏返したところ、葉裏に静止する若齢幼虫1頭(2令または3令)を発見した。持ち帰った幼虫は、当初はイケマ、終令以降はガガイモを与えて飼育したところ、10月19日に蛹化し、12月1日に♀が羽化した。蛹期が長かったのは秋期の低温のためと考えられる。

ちなみに長野県における8月以降の卵観察例としては、1974年9月14日に松本市三才山中ノ沢で1卵が採集され、蛹化にまで到った例(信州昆虫学会編, 1979), 1997年8月16日に安曇村島々谷で1卵発見(氷室, 1997), 2000年8月1日に高山村で2卵を発見し、8月29日に羽化した例(関, 2000)などがある。

引用文献

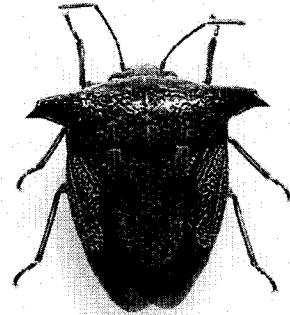
- 信州昆虫学会編, 1979, 信濃の蝶V, 信学会, 長野.
 氷室 徹, 1997, 可良古岨無(38): 14.
 関 舜二, 2000, やどりが(187): 36-41.
 (いとう ひさし/〒770-0938 徳島市明神町6-5-A203)

長野県飯田市でウシカメムシを採集

四方 圭一郎

ウシカメムシ *Alcimocoris japonensis* (Scott, 1880) の記録をまとめた大野(1994)によると、長野県内におけるウシカメムシの記録は宮下(1935)の白馬村唐松岳山麓における記録があるだけのようなのである。

本種を飯田市において採集したので、報告する。



1ex. 飯田市竜丘桐林(標高550m), 31. X. 2001, 筆者採集・飯田市美術博物館保管。

採集地は、アカマツ、コナラなどの優占する里山二次林で、車のフロントガラスに静止している個体を見出し採集した。

引用文献

- 大野正男, 1994, 日本産主要動物の種別知見総覧(30)ウシカメムシ(1), 東洋大学紀要, 38, 97-123.
 宮下義貴, 1935, 白馬連峰かめむし科雑記(日本北アルプス半翅目1), 昆虫世界, 39(5), 175-179. (原文未読, 大野(1994)より引用)
 (しかた けいいちろう/飯田市美術博物館)
